

# 横浜ベイサイドマリーナ主催 2024年ISPA瀬戸内海トレーニング

## Bコース航海計画表

協力：マリンドライブ

穏やかなイメージのある瀬戸内海。実は裏の姿はあまり知られておりませんが川のように流れる潮流、無数の暗礁地帯、漁船や本線との往来など、航海するにも大変危険で難しいエリアです。

このレグでは本当の瀬戸内海の怖さと難しさを体験できるコースを選びました

村上水軍の本拠でもあった能島や瀬戸の三大難所でもある来島海峡の潮流体験、最大10ノット流れる海域、しまなみ街道の無数の島々を縫うように航海するとてもテクニカルで難しいコースになります

このコースはかなり慣れた者しか安全に航海することが難しいため、今回のトレーニングでは貴重な体験ができることを断言します



この航海計画表は令和6年1月に作成したものです。港、宿泊先、天候、その他の理由により内容が変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください

日程 令和6年5月20日（月）～23日（木）

3泊4日

募集人数6名、最小催行人員3名（YBMインストラクター、船長除く）

同乗インストラクター YBM飛内インストラクター

船長、案内 マリンドライブヨットスクール沖縄&瀬戸内 武田隆治

使用艇 ジャヌーVOYAGE 37フィート





## 前日 5月19日（日）尾道にお入り下さい

前日はニューベックや潮流潮汐表を使った航海計画の立て方の勉強会を予定していますのでご興味のある方はご参加下さい。瀬戸内海航海のための航海計画の立て方が学べる貴重なチャンスです。（17時より、尾道海の駅教習艇にて開催）

トレーニング当日は8時に尾道海の駅に集合、準備出来次第すぐに出港となりますので尾道駅周辺のホテルに宿泊下さい（各自で予約）

尾道のホテルは結構予約が取れにくいので早めのご予約をお勧めします

推奨ホテル 尾道ロイヤルホテル（ヨット目の前）  
ホテルアルファワン（尾道駅近く）  
尾道グリーンヒルホテル（尾道駅前、港ターミナル）

トレーニング期間中の宿泊はこちらで代理で手配いたします

参加費用 1日/33000円(税込) × 4日 132000円(税込)

移動交通費、宿泊費用、各食事代、観光などは全て実費になります

タクシーや酒類、買い出しなどは使った人で割り勘

天候などによる出港中止は免責とさせていただきます。

その場合は観光か座学などで対応させていただきます。

お客様都合での途中下船も含めてご返金などの対応は出来ませんので事前にご了承下さい

## 尾道へのアクセス

飛行機 広島空港から空港バス 尾道行きか三原行きで連結

新幹線「福山駅」にて在来線に乗り換えて下さい

新幹線「新尾道駅」は場所が違いますのでご注意下さい。

尾道駅からは東へ徒歩約2キロ(海岸沿いを歩けばすぐです)

尾道海の駅

<https://www.umi-eki.jp/uminoeki/onomichi.html>

ご自身のライフジャケットがある方はご持参下さい(貸し出しは法定備品のものになります)

常用の薬、装着品、定期診察の必要方は十分な量と時間を確保してご持参下さい

アイパッド、充電器は各自でご持参下さい

十分な着替えの持参と雨具、防寒対策をお願いします

酔い止め薬は出来るだけ常用下さい。酔うと他の方にも心配かけますので自己管理をお願いします

ヨットスペースに限りがあります。

荷物は出来るだけコンパクトにし、ソフトバックをお願いいたします。

1日目 尾道一大崎下島(御手洗港)約25マイル

8時に出港して1時間半ほどは逆潮の中の航海になります。その後だんだん追い潮になります  
御手洗棧橋は一旦来島海峡に出て島の南側からアプローチしますので事前に計画を作る方にご注意下さい

御手洗入港は14時頃です。ここも流れが速く着岸は難しい棧橋です。到着時はまだ流れていますのでスキッパーとクルーの仕事が重要になります

かつて北前船で栄えた島、御手洗(みたらい)は今も昔の古い街並みが綺麗に保存され、古い街並みを歩くとまるで江戸時代にタイムスリップしたような体験が出来る島です  
特に御手洗地区は観光スポットでもあり必ず一度は行く価値があります

今回は御手洗港棧橋に入港して約1時間、観光協会のボランティアガイドを頼みます(15時からプロのガイドが案内してくれる御手洗の街はガイド無しとは格段に得るものが違います

<https://dive-hiroshima.com/explore/59/>

宿泊は昔病院だった洋館建ての建物を宿泊施設にした宿「ゲストハウスくすし」に宿泊します  
所々にある病院の跡はお楽しみの一つです  
素泊まりですので夕食は外食を予定しています（場所は現在未定）  
<https://hatagoya-kusushi.com/>

2日目 大崎下島（御手洗港）→大島（宮窪漁港）約13マイル

御手洗では朝食は入手出来ないので頼めたら前夜の店でお弁当を頼みます（未定）  
出港は8時にしますがこの時間も結構流れています  
慎重に出港のやり方を考えて出港する必要があります

この日はあまり距離はないので昼前には大島に入港します（約11時頃）  
港の近くは最大の難所でもある能島、船折瀬戸近辺を通過します。渦巻の中ヨットで通過する体験はドキドキします

入港したらまずは村上水軍のお勉強です  
博物館には村上水軍の歴史がわかる資料がたくさんあります  
<https://www.city.imabari.ehime.jp/museum/suigun/>

次は能島と村上水軍の体験をしましょう  
かつて村上海賊と恐れられた村上水軍の誤解された本来の姿、本拠地でもあった能島の激しい潮流を実際に間近で体験できます  
観光船で能島の潮流体験をします。約1時間のクルーズです  
[https://www.oideya.gr.jp/spot-c/tyoryu\\_miyakubo/](https://www.oideya.gr.jp/spot-c/tyoryu_miyakubo/)

ここの潮流を見たら本来の恐ろしい瀬戸の潮流が見ることが出来ます  
川のように流れる潮流は最大で10ノットを超える場合もあります。ヨットではなかなか体験出来ない経験です

昼食は瀬戸内ではかなり美味で有名な「鯛ラーメン」を堪能して下さい  
鯛ラーメンはかなり美味で出汁は絶妙なご当地ラーメン。一度食べる価値はあります



宿泊は来島海峡を一望出来る旅館「名駒」で温泉に入り瀬戸の懐石料理を堪能

<https://www.gambo-ad.com/hotel/foods.php?ar=2&id=42>

夕食までは温泉を楽しんだり海沿いを散歩したりゆっくりした時間をお楽しみ下さい

3日目 大島（宮窪漁港）－岩城島－真鍋島 約30マイル

この日は旅館から港まで距離がありますので9時出港にします

美味しい瀬戸の朝食を食べて旅館のバスで港まで送迎してもらうため港まで30分程かかります  
途中、コンビニに寄ってもらいますので食料やおやつや必要なものはここで購入しておいて下さい

途中、昼ごはんを食べるために岩城島に寄りましょう（10時頃入港、滞在約1時間）

<https://www.umi-eki.jp/uminoeki/kamijima.html>

この島はレモンが有名でレモンを餌に混ぜて育てたレモンポークが有名です  
ほんのり柑橘の香りのあるレモンポーク定食を食べましょう

<https://www.lemonpork.com/?tid=4&mode=f2>

あとは芋けんぴが名物の島です。岩城の芋けんぴはかなり有名です。おやつで買っていきましょう  
まだ昼前なので食べれない方はスーパーで昼食を購入して下さい

昼食が終わったら真鍋島に向かいます

真鍋島は瀬戸内海のだ真ん中にある島

お笑い芸人、千鳥の大悟の故郷、ゆうこうまりんの北木島工場もすぐ目の前にある島です

真鍋島では陸の孤島、船でしか行けないリゾート「三虎」知る人ぞ知る秘境の宿です

<https://santora.biz/index/>

三虎のプライベート桟橋に入港します（16時頃到着予定）

島の集落からの陸路が無く歩いては来れないような場所ですが、施設は綺麗に整備されていて貸切感が満載です

昔、学校だった校舎を船で運んでそのままここに再現した建物は小学校の面影もあり楽しい

何も無い島ですので観光はありませんが島の静かな時間をお過ごし下さい

到着したらまずは明るいうちに露天風呂にお入り下さい

手作り感のある露天風呂から見る瀬戸内海は疲れを癒します

島を貸し切った気分になれる秘境に宿泊して夜は瀬戸内海の新鮮な懐石料理を堪能します



4日目 真鍋島ー尾道 約23マイル

最終日は尾道に戻ります

この日の尾道の潮止まりは12時ですので

三虎で朝ごはんを食べた後、すぐに出港します（7時朝食、準備が出来次第8時までには出港）

昼食は尾道に着岸してからになりますので三虎でお腹いっぱい朝食を食べて出港して下さい

13時までには尾道に入港して、お帰りの準備が済んだら昼食も兼ねて打ち上げの尾道ラーメンで乾杯。お帰りの準備も含めて14時には解散を予定しています



